

既習を活用・発揮した新聞記事のリライトで「書くこと」の資質・能力を高めるアイデア

実践場面

高等学校 1 学年 現代の国語 「書くこと」ア

「目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決めて書く場面」

高等学校 1 学年 言語文化 「書くこと」イ

「文章の種類，構成，展開や文体など表現の仕方を工夫して書く場面」

ねらい

中学校までの「書くこと」で学習した「題材の設定」「内容の検討」や高等学校の「読むこと」で学習した「構造と内容の把握」等の既習を活用・発揮して記事のリライトをすることで、目的や意図に応じて書く力や、文体や描写，語句などの表現を工夫して書く力の育成を目指す。

【アイデアのポイント】

既習で身に付けた資質・能力を活用して、テーマを変えて複数の文章を「リライト」することで、書く力の育成を図ります。

学習活動① 新聞記事の構造を理解して書く力に結び付けよう

新聞記事に必要な要素（5W1H）を記事から探そう

- Who だれが
- What なにを (する, した)
- When いつ
- Where どこで
- Why なぜ
- How どのように

どんな順序で、どのような内容が書かれているか確認するだけでも色々な発見があるね。



【新聞記事例】
 秋田県羽後町で16日夜、西馬音内盆踊りが2年ぶりに開催され、かがり火が踊り手の輪を幻想的に照らした。新型コロナウイルスの影響で昨年は中止。今年もは供養や伝統文化継承のため、無観客で踊り手も町内限定にし、規模も縮小してこの日のみ開いた。
 夕暮れになると、寄せ太鼓のおはやしが踊りの開幕を告げ、端縫いの衣装や藍染めの浴衣を着た町民がそぞろに集まった。編み笠や黒ずきんをかぶった踊り手は間隔を広くとり、かがり火を囲むように、指をしなやかに反らせては足を運んだ。約七百年前に始まったとされる国の重要無形民俗文化財。
 感染対策で、外からは見えないように目隠し用のバリケードを設置し、観光客向けにはライブ配信した。実行委員会の〇〇さんは、「行事をつなぐことができた。観光客にはコロナの終息後に、ゆつくりと来てほしい」と語った。

学習活動③ 新聞記事をもとに参加者マニュアルを作ろう

【新聞記事例】

秋田県羽後町で16日夜、西馬音内盆踊りが2年ぶりに開催され、かがり火が踊り手の輪を幻想的に照らした。新型コロナウイルスの影響で昨年は中止。今年は供養や伝統文化継承のため、無観客で踊り手も町内限定にし、規模も縮小してこの日のみ開いた。

夕暮れになると、寄せ太鼓のおはやしが踊りの開幕を告げ、端縫いの衣装や藍染めの浴衣を着た町民がそぞろに集まった。編み笠や黒ずきんをかぶった踊り手は間隔を広くとり、かがり火を囲むように、指をしながらに反らせては足を運んだ。約七百年前に始まったとされる国の重要無形民俗文化財。

感染対策で、外からは見えないように目隠し用のバリケードを設置し、観光客向けにはライブ配信した。

実行委員会の〇〇さんは、「行事をつなぐことができた。観光客にはコロナの終息後に、ゆっくりと来てほしい」と語った。



マニュアル、規約へのリライト
文体や構成を工夫して内容を分かりやすく伝えよう

西馬音内盆踊り参加の皆様へ

- ①集合時間・場所
8月16日16:00まで〇〇に集合してください。
- ②携行品
.....
- ③次のことについて御確認ください。
 - ・新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限の注意をはらって参加してください。
 - ・当日は、目隠し用のバリケードを設置し、踊りの様子をライブ配信します。ライブ配信についてご承諾ください。

ポスターとは違って、読んだ人を引きつけるキャッチコピーやイラストは必要なさそうだな。書き方も、文章よりも箇条書きの方が、読んだ人に内容が伝わりやすいと思うなあ。



学習活動④ 参加者の一人称視点でリライトしてみよう。

【新聞記事例】

秋田県羽後町で16日夜、西馬音内盆踊りが2年ぶりに開催され、かがり火が踊り手の輪を幻想的に照らした。新型コロナウイルスの影響で昨年は中止。今年は供養や伝統文化継承のため、無観客で踊り手も町内限定にし、規模も縮小してこの日のみ開いた。

夕暮れになると、寄せ太鼓のおはやしが踊りの開幕を告げ、端縫いの衣装や藍染めの浴衣を着た町民がそぞろに集まった。編み笠や黒ずきんをかぶった踊り手は間隔を広くとり、かがり火を囲むように、指をしながらに反らせては足を運んだ。約七百年前に始まったとされる国の重要無形民俗文化財。

感染対策で、外からは見えないように目隠し用のバリケードを設置し、観光客向けにはライブ配信した。

実行委員会の〇〇さんは、「行事をつなぐことができた。観光客にはコロナの終息後に、ゆっくりと来てほしい」と語った。



一人称視点でのリライト
小説で学習した「語り手」の視点を活用しよう

私は、8月16日夜、秋田県羽後町西馬音内で開催された西馬音内盆踊り大会に踊り手として参加した。

夕暮れになると、寄せ太鼓のおはやしが踊りの開幕を告げ、端縫いの衣装や藍染めの浴衣をまとった踊り手たちが集まりはじめた。かがり火を囲むように踊りの輪が自然と広がってゆく。私も、その輪の中へ入っていった。

2年ぶりの開催、身のこなしの感覚を思い出すように、ゆっくりと踊りはじめる。視線の先にある「目隠し用バリケード」がものものしくそそりたっているように見えた…。

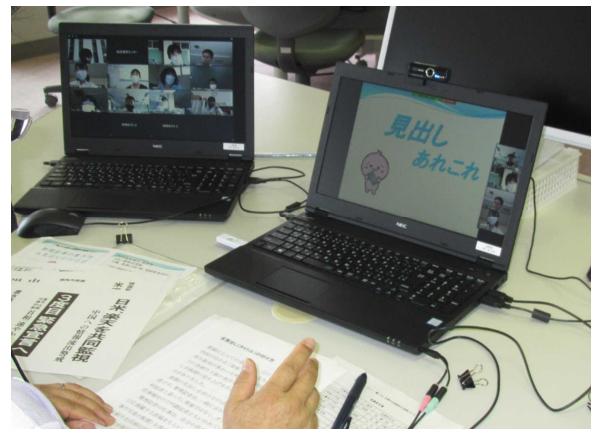
小説で、人称や視点の大切さを学んだけれど、実際に書いてみると文体や表現の特色がよく分かるなあ。
新聞記事があるから、一人称のリライトにも取り組みやすいよ。



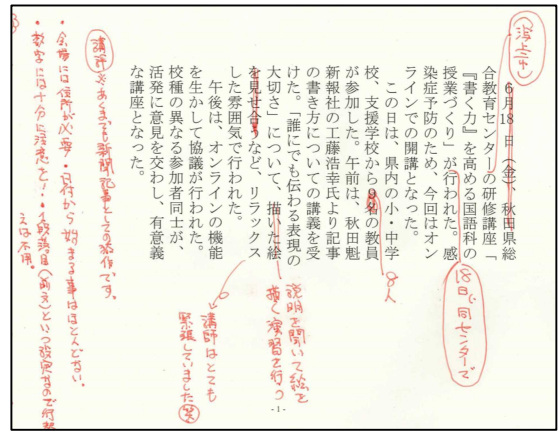
新聞記事を活用した学習活動は、この他にも多くの例が考えられます。例えば、

- ・新聞記事だけを見て、見出しを作ってみる。
- ・今日あったことを、新聞記事風に書いてみる。
- ・記事の割り付けをして、新聞の構成について理解する。

6月18日（金）のC-1講座 「『書く力』を高める国語科の授業づくり」では、秋田魁新報社 工藤浩幸氏から、新聞を活用した授業づくりについて御講義をいただきました。文章のねじれや誤解を招く紛らわしい言い回しについて学んだり、見出しを考えたりする活動を行いました。また、研修の最後には、当日の研修内容を新聞記事にする「前文書き」に受講者の皆さんが挑戦し、工藤先生から添削をしていただきました。新聞を活用した様々な授業づくりの可能性を紹介していただき、今回のアイディアにつながる多くのヒントもいただきました。



【新聞の見出しについての講義・演習】



【研修についての記事づくりと添削】

- ・今回、自分で前文を書いてみて、生徒の書く力を高める有効な学習になると感じました。
- ・本校では、各学級に毎日新聞が届いていますが、活用できているとはいえない状況なので、今日教えていただいたことをもとに、活用を考えていきたいと思います。

【受講者の感想より】